

羊蹄ニュース

羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会

羊蹄山麓の7町

村（蘭越町・倶知安町・真狩村・留寿都村・喜茂別町・京極町・ニセコ町）が設立した、羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」では、広域景観づくりの情報交換及び今後の方向性について、地域の皆様と考える場として、今年も3月8日に「羊蹄山麓広域景観づくり懇談会」を開催しました。昨年の活動報告が各検討部会からありましたので、お知らせします。

景観法検討部会

景観法検討部会では、平成24年度も8月下旬に、後志合同庁舎1階道民ホールで、景観法の届出制度や屋外広告物に関する景観パネル展を開催しました。また、羊蹄山麓広域景観推進地域における景観法の届出制度の周知を行っています。

景観広告推進部会

景観広告推進部会では、羊蹄山麓の景観と調和した広告物等の目指すべき姿として、「羊蹄山麓景観広告ガイドライン」を策定しており、地域の個性を生かした広告サインのルールづくりや身近な景観づくりなど、様々な取組みを実施中で、部会としてもこれをサポートしています。

水辺景観づくり部会

水辺景観づくり部会では、平成24年度も、蘭越町の貝殻沢川にて、魚道に堆積していた土砂や流木等の清掃作業を行っています。

廃屋・空き家検討部会

廃屋・空き家検討部会では、平成25年3月に「廃屋・空き家対策モデル条例」を作成しました。このモデル条例は、今後、管内市町村で条例を策定していく際のひな形となるものです。

モデル条例では、廃屋に対して、助言・指導・勧告・命令・公表、そして最終的には行政代執行という

手段により対応していくことを定めています。また、人の生命、身体又は財産に危険な状態が切迫していると認められるときは、所有者の方の同意を得て、市町村長が緊急安全措置を実施できるとしています。平成25年度はこのモデル条例の具体的な運用についても整理していきます。

羊蹄山麓景観情報発信部会

羊蹄山麓景観情報発信部会では、景観づくり強調月間として定めた6月に「羊蹄ニュース」を発行し、羊蹄山麓の景観に関する情報を積極的に発信しています。



「羊蹄ニュース」では、羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会の各部署の活動報告とともに、毎年持ち回りで特定の町村の景観づくりの取組みについて特集しています。（裏面をご覧ください）

景観づくりの取組み

6月は、羊蹄山麓広域景観づくりの強調月間です。6月～7月の各町の取組みをお知らせします。

6月初旬	花いっぱい運動 (喜茂別町)
2日	フラワーロードゆり植え 花いっぱい運動 (真狩村)
2日	ニセコ千本桜植樹祭 (ニセコ町)
7日	綺羅街道ハンギング・バスケット植栽 (ニセコ町)
9日	花いっぱい運動 (留寿都村)
18日	尻別川クリーン作戦 (京極町)
22日	尻別川クリーン作戦 (蘭越町)
30日	喜茂別川クリーン作戦 (喜茂別町)
7月中旬	桜保存活動 (真狩村)
喜茂別コース	6月14日
ひらふコース	6月15日
真狩コース	6月16日
京極コース	6月20日

羊蹄ニュースでは、羊蹄山麓の各町村の景観に関する取組みを詳しくお伝えしていきます。今回は、真狩村の景観づくりの取組みについてお伝えします。

道道沿いを花でいっぱい

真狩・錦町内、社市街地の皆さんが、道道岩内洞爺線の社交差点から道の駅真狩フラワーセンター前まで、道路区間の植樹柵に花を植えました。早朝から行われ、多くの方が協力し合って、丁寧に植え込んでいきました。初夏には、黄色とオレンジ色の鮮やかな花が道行く人の目を楽しませてくれました。



My 桜の杜づくり

『桜の花でいっぱいになあれ!』

真狩神社参道にて、まっかり桜保存会と真狩小学校2年生16人が、桜の種を拾いポットに植えました。参道のエゾヤマザクラの並木をさらに美しくと、11年前から取り組んでいるものです。このポットは保存会が管理し、順調に育てば子どもたちが大きくなる頃に花を付けるそうです。



いつもきれいな真狩川に

真狩川クリーン作戦が行われ、約70人の皆さんが、真狩川河川公園周辺のゴミ拾いをしました。遊歩道のゴミや木の枝を拾ったり、川の中にあるゴミを拾うなどして約1時間で終了。観光シーズンを前にきれいになりました。

